

多様性尊重の大切さ理解

高校生外交官プログラム

篠原さん(佐野)と萩野さん(文芸大付)参加

佐野高2年篠原彩絢さんと文芸大付属高2年萩野弥那さんは、7月22～30日にオンラインで開かれたAIG高校生外交官特別プログラム(同プログラム実行委員会主催)に参加した。全国の高校生と英語を使って課題発表や意見交換を行い、広い視野と多様性を尊重する大切さを学んだ。



高校生外交官特別プログラムに参加した
篠原さん(右)と萩野さん

はなく、篠原さんと萩野さんはオンラインで主に英語を使って交流した。他都道府県の高校生とグループをつくり発表す

る課題では、篠原さんらは「地域の特色」を取り上げ「祭り」を軸にその意義や継承について考えをまとめた。萩野さんらは「高校教育」で、先生

と生徒のコミュニケーションをテーマに議論を深め、より良い関係性について考えを出し合った。それぞれ発表と質疑応答を行った。

公募で選ばれた2人は、約2ヶ月の準備とプログラムを振り返り「全国の高校生の視野の広さや何事にも関心を持つ姿に刺激を受けた」と話す。また1日の終わりに、他の良かつたところをほめ合う「ポジティブシャワード」も印象に残ったという。

篠原さんは「自分自身を深く見詰める機会になり、他者をリスペクトすることの大切さを知った」。萩野さんは「学校の勉強が役に立つことを実感した。積極性も身に付いた」と笑顔を見せた。(藤田りか)